

平成26年度 学校評価報告書

1 本年度の重点目標

- ① 生徒の学習意欲をより一層かきたてる授業づくりを推進する。
- ② 生徒の夢実現プログラムである『大志21』の取組のより一層の充実を図る。
- ③ 生徒指導をすべての指導の根幹に据え、基本的生活習慣の確立と良好な人間関係づくりを図る。
- ④ 心と体の健康教育及び安全教育(生活安全・交通安全・災害安全)に取り組む。
- ⑤ 施設・設備の整備・補修・点検に取り組む。
- ⑥ 学校評価と職員評価を連動させ、職員一人ひとりの資質向上を図るとともに、学校経営の改善を図る。

2 自己評価結果に対する学校関係者評価

A 達成している B おおよそ達成している C あまり達成していない D 達成していない

評価分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		自己評価結果	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
学習指導	① 家庭学習の充実について	A	生徒の自学自習力の向上を目指して、「土曜学習」の効果的な実施を、学年の協力をもらいながら模索し始めた。次年度も継続して効果的な取組方法を検討・実践していく。	A	A
	② 連携のとれた教育活動の達成について	A	各分掌・学年・教科の意見に耳を傾けながら、入試及びカリキュラムの見直しに着手している。入試については次年度から、カリキュラムについては28年度入学生から運営できるように準備を進めていく。	A	A
	③ バランスのとれた学力の伸長と実力の養成	A	新課程に対応し、講習をより充実させ効果を上げたい。今年度は3学年の講習も理科対応のため、時間割や回数の工夫をすることで成績向上に結び付けられた。次年度以降も検証を重ねながら講習の充実も含めて実力養成をしていく。	A	A
学校関係者評価者による意見	新課程の入試になり、受験対応の学習が複雑になってきているが、しっかりとした学力を養成する指導をお願いしたい。				
生徒指導	① 服装・頭髪の指導について	A	頭髪の違反者はほとんどいないが、制服の着こなしにおいて女子のスカートの丈が短いのが目立つので指導していきたい。	A	A
	② 登下校時の安全指導の徹底 ⇒ 将来にわたる交通ルール遵守の涵養	B	今年度は、自転車事故が多かった。交通安全に関するプリントなどを配布して注意を促し、事故防止に努めたい。	A	A
学校関係者評価委員会による意見	生徒の自転車走行、バスの乗車状況などおおむね良好であるが、自転車に事故もあるのできちんとした交通安全教育を徹底してほしい。町内会の安全担当者として本校生徒を見守っていきたいと考えている。				
進路指導	① 資料の整備と活用、進路学習室の活用について	A	進路学習室の利用ルールをもっと徹底させたい。次年度以降は利用ルール・マナーを含めて周知徹底し学力向上に役立たせたい。	A	A
	② 模試の分析を通しての生徒の学力・個性・適正の把握	A	各学年での模試検討会が全体の学力の把握に役立っている。今後は個別にも焦点をあて、より確かな学力伸長を期するために役立てたい。	A	A
	③ 進路目標の早期決定の指導	B	1学年でのR-CAPによる進路適性検査をさらに有効になるよう工夫したい。2学年では夢ナビプログラムを実施し、学問への興味・関心が大学進学への意欲向上につながっていると考えられ、今後とも継続して指導していきたい。	B	A
学校関係者評価者による意見	様々な改善の方策を取っているので素晴らしい評価ができる。新課程に対応したセンター試験の必要になってくるが、しっかりとした指導をお願いしたい。				

環境美化	① 学校環境の整備・美化の推進について	B	生徒は環境整備に関する様々な場面で活発に活動した。トイレ清掃について課題が多く、中学校説明会・翠樅祭・公開授業の朝は保厚部員でトイレを清掃する必要に迫られた。普段から衛生的で美しいトイレ使用ができるよう指導を徹底していきたい。	B	A
	② 生徒委員会（保健・清掃美化）活動の活発化	A	委員会全体が活発に活動した。清掃点検を今年から始めたが生徒は予想以上に意欲的に取り組んだ。今後も継続していきたい。	A	A
学校関係者評価者による意見	トイレの美化は学校だけではなく、様々な場所で問題になっている。学校は生活の場でもあるので衛生的に過ごせるようにご指導願いたい。				
家庭連携との	① 校内各分掌、父母教師会等の団体との連携	A	生徒を通じた連絡文書が家庭に届かないとの来年度は、配信メールの利用の仕方を全体・各学年で利用できないか検討していきたい。	B	A
学校関係者評価者による意見	学校の文書が確実に届かないのは家庭における一つの悩みである。メール配信システムを有効に利用していただければ大変助かる。				
特色ある学校づくり	① 「館山タイム」の活用について	B	避難訓練の日に防災・火災関連の資料を、開校記念日に同窓生の文章を読ませるなど、また放送部の協力を得て、吹奏楽部、合唱部の演奏、放送部のラジオ作品を披露するなど他分掌との横の連携をはかり様々な角度から趣向を凝らし生徒の興味を引くことができた。来年度もこの形で実施したい。 学校評価（生徒）の肯定率が1、2年が69%、3年が75%と、小論文対策などで受験が差し迫る3年生で高い数値が出た。低学年の意識の啓発に努めたい。	B	B
	② 図書委員会活動の活性化について	A	「生徒図書員の集い」当番校としての活動の他、「ガンバレ宮城！私のおすすめ本メッセージカードコンテスト」に参加し、最優秀賞1名、優秀賞2名、入選2名の結果を残した。さらに出張図書館の開始やビブリオバトル東北大会への参加など積極的に活動した。12月読書会をビブリオバトルの要素を取り入れたものとし、読書への刺激、意欲の喚起につなげた。 来年度は「ビブリオバトル」を本校の大志21の取り組みの一つとして位置付け、さらなる活性化に努めたい。	A	A
学校関係者評価者による意見	・ビブリオバトルの導入など学校の活性化に積極的に取り組んでいる姿勢が見られ、感心している。 ・アメリカ研修なども世界のグローバル化に向かい意義ある研修とおもわれるので、ぜひ積極的に実施して行ってほしい。				
防育災教	防災計画に基づいた安心安全な学校環境づくりについて	B	一斉配信メールを使い、台風予測に伴う休業日の連絡を行った。今後も有効に利用していきたい。	B	B
学校関係者評価者による意見	学校で防災マニュアルの作成や防災訓練を実施しているようだが、ぜひ地域との防災訓練参加も検討して下さい。				

### 3 次年度の課題と改善方策

次年度の課題	改善方策
① 新課程に対応した学力の養成	いよいよ全ての学年が新課程となる年度を迎え、大学入試に十分対応できる学力を養成できる学習指導体制を確立する。
③ 新たな進路指導行事の開発	従来の職場訪問や大学教員による出張講義に取って代わる、より实际的で進化した進路行事を検討し、実践する。
④ 体育館大規模改修への対応	約半年間体育館が使用できなくなるが、授業はもとより学校行事や部活動に影響のないように事前対策を十分に行う。